

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	北見美容専門学校
設置者名	学校法人 上村学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・ 通信制の 場合	実務経験のある 教員等による 授業科目の 単位数又は授 業時数	省令で定める 基準単位数又 は授業時数	配 置 困 難
専門課程	美容本科		1230時間	160時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://k-bc.ac.jp/

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	北見美容専門学校
設置者名	学校法人 上村学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

https://k-bc.ac.jp/

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	現 美容室経営	2020.5.1～ 2023.5.31	美容教育への適切な助言と学校運営への責任ある関与
非常勤	現 開業医	2020.5.1～ 2023.5.31	〃
非常勤	現 美容室 経営	2020.5.1～ 2023.5.31	〃
非常勤	前 北見美容専門学校 職員	2020.5.1～ 2023.5.31	〃
非常勤	前 美容室 経営	2020.5.1～ 2023.5.31	〃
非常勤	現 美容室 経営	2020.5.1～ 2023.5.31	〃
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	北見美容専門学校
設置者名	学校法人 上村学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) (授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科科目、授業時数(単位時間)は美容師養成施設指定規則第3条一項ハにより本校学則第8条に規定され、「専修学校概要」(北海道私立専修学校各種学校連合会発行)に記載 ・成績評価の方法、基準は本校「専門課程の成績評価と卒業認定に関する規程」による。 ・授業計画は3月、翌年度の担当教員と週当たりカリキュラム、学期ごとの時間数を確認 ・1年次で教科書の履修を終える事を目標に、学期ごとの教科内容の配分は教員の判断に任せる。 ・2年次は単位時間が終了していても、資格試験の筆記試験に向かって1年次と同じく中間・期末試験を行い成績・順位をだす。 	
授業計画書の公表方法	https://k-bc.ac.jp/
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成績評価の方法、基準 <ul style="list-style-type: none"> 各科目で行われる定期試験、各技術試験、在学中に行われる各種試験その他提出物において100点満点中60点以上、もしくはA～E段階のC段階以上で合格とする。 (A—80点以上 B—70点以上 C—60点以上 D—59点以下 E—0点) ・試験ごとに成績を玄関ホールに公開する。 ・毎学期、保護者に郵送報告する。 <ul style="list-style-type: none"> 筆記試験…中間・期末試験ごとに総合点により順位を発表。 実習試験…技術試験ごとに採点者3名以上の採点を平均して数値化、全員の試験結果一覧を発表。 ・時間単位制をとっているため、朝礼、昼休み終了時、終礼で出欠を確認している。 	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。 (客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)						
客観的な指標の算出方法						
必修科目の学期ごとの試験成績結果を合計し、順位を出す。						
学科名	美容本科	学年	2年生	学生数	12名	
成績の分布						
指標の数値	540～ 599点	600～ 649点	650～ 699点	700～ 749点	750～ 799点	800点 以上
人数	1	0	0	4	5	2
下位1/4に該当する人数 4人 下位1/4に該当する指標の数値 730点以下						
<ul style="list-style-type: none"> ・毎学期の中間・期末試験毎に、あるいは併せて、筆記試験・実技試験の合計点数の分布状況を50点きざみで集計しGPAを設定、成績の分布や過年度との比較をする。 ・評価は絶対数値、若しくはA～Cで表記し全体に対する成績位置を明記する。 ・試験ごとに成績を玄関ホールに公開する。 ・毎学期、保護者に郵送報告する。 						
客観的な指標の算出方法の公表方法	https://k-bc.ac.jp/					
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。						
(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)						
卒業の認定は本校「専門課程の成績評価と卒業認定に関する規程」による。						
(成績評価と単位)						
<ul style="list-style-type: none"> ・全科目60点以上の成績を修めているか ・学則8条に定める卒業に必要な単位時間数(2010時間)を履修しているか 						
(卒業判定会議)						
<ul style="list-style-type: none"> ・学校長以下全教員参加の卒業判定会議を年に一度、2月中旬に行う。この時点で総履修単位時間が決まる。 						
卒業の認定に関する方針の公表方法	https://k-bc.ac.jp/					

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	北見美容専門学校
設置者名	学校法人 上村学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://k-bc.ac.jp/
収支計算書又は損益計算書	https://k-bc.ac.jp/
財産目録	https://k-bc.ac.jp/
事業報告書	https://k-bc.ac.jp/
監事による監査報告（書）	https://k-bc.ac.jp/

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生		専門課程	美容本科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2010 単位時間/単位	645 単位時間	50 単位時間	1225 単位時間	90 単位時間	
		2010単位時間/単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		28人	0人	5人	7人	12人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） ・授業計画は3月、翌年度の担当教員と週当たりカリキュラム、学期ごとの時間数を確認 ・1年次で教科書の履修を終える事を目標に、学期ごとの教科内容の配分は教員の判断に任せる。
成績評価の基準・方法
（概要） 各課目で行われる定期試験、各技術試験、在学中に行われる各種試験 その他提出物において100点満点60点以上、もしくはA～E段階のC段階以上で合格とする。 (A—80点以上 B—70点以上 C—60点以上 D—59点以下 E—0点)
卒業・進級の認定基準
（概要） ・全課目60点以上の成績を修めているか。 ・学則8条に定まる卒業に必要な単位時間数(2010時間)を履修しているか。

学修支援等
(概要) 教科ごとにサブノートと問題集を製作、提出させて確認している。 資格筆記試験科目は単位終了後も毎週(2年生)演習時間を設けている。 技術練習は放課後、毎日、教職員が校内にいる時間は可能としている。 各学科・実技試験では認定基準に満たない場合「追試験」を受け、更に「補習」を受けさせる

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
12人 (100%)	0人 (0%)	11人 (91.6%)	1人 (8.4%)
(主な就職、業界等) 美容業(美容室、マツエクサロン、ネイルサロン)			
(就職指導内容) 1年生3学期就職ガイダンス 春休みに保護者アンケート 2年生4月三者面談(希望者のみ) 就職活動の相談(随時)			
(主な学修成果(資格・検定等)) 美容国家資格、着物着付師(初中伝・奥伝) 花嫁着付師、JNAネイリスト3級・2級、ジュニアアイデザイナー検定 アンリサンクメイクディプロマ、INAジェルネイリスト2級			
(備考) (任意記載事項) 学生が希望する就職先の多様化、細分化が進行している。美容室を希望する学生もいるもののまつ毛エクステ専門店、ネイルサロン専門店、ブライダルも併設した美容室などの美容関係事業を希望する学生が増加傾向にある。			

中途退学の現状		
令和3年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
28人	4人	14.2%
(中途退学の主な理由) 人間関係 家庭の事情 病気		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学生本人と教職員等による面談をしている。 担当制により常に保護者と連絡を密にとっている。 特に遅刻欠席は必ず保護者からの連絡が前提である。 授業参観日を設け、保護者と個人面談時間を確保する。 中退希望者には「休学」により「復学」の道を残して、年度末には連絡確認をする。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
美容本科	100,000 円	730,000 円	330,000 円	研修旅行費、課外コース別途
	円	円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				
特待生制度 学費分納制度				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://k-bc.ac.jp/		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 地元の関係業界団体の代表 2 名に学校評価関係者評価委員を委任 学校長、教職員代表と年に 1 回以上教育活動と結果や自己評価について検証し、 今後の具体的取組みや継続的改善への提言と協力を期待する。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
北見美容協会 会長	協会長 任期	地元の関係業界団体の代表
SPC GLOBAL 北海道統括副会長	副会長 任期	地元の関係業界団体の代表
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://k-bc.ac.jp/		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://k-bc.ac.jp/ 2023 GUIDEBOOK (本校) 専修学校概要 (北海道各種学校専修学校連合会発行)
--

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	北見美容専門学校
設置者名	学校法人 上村学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		-人	-人	-人
内 訳	第Ⅰ区分	-人	-人	
	第Ⅱ区分	-人	-人	
	第Ⅲ区分	-人	-人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				-人
(備考)				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	0人	0人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間が標準時間数の5割以下)	0人	0人	0人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当	0人	0人	0人
計	人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人

(備考)

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、 高等専門学校（認定専攻科を含 む。）及び専門学校（修業年限が 2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数 の6割以下 (単位制によらない専門学校に あっては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の6割以下)	0人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	0人	一人	0人
出席率が8割以下その他 学修意欲が低い状況	0人	0人	0人
計	0人	一人	0人

(備考)

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

時 間 割 2022年度

	月	火	水	木	金	土
1	美容理論	衛生管理	美容実習	関係法規	美容実習	
2	美容実習	衛生管理	〃	接客心理	〃	
3	〃	美容実習	化粧品化学	美容実習	〃	
4	〃	〃	文化論	〃	美容理論	
5	〃	保健Ⅱ	美容理論	〃	保健Ⅰ	
6	〃	美容実習	ヘアデザイン画	〃	美容実習	
7	〃	〃	〃	〃	〃	

授 業 時 間 表

朝 礼	8 : 5 0
1	9 : 0 0 ~ 9 : 5 0
2	9 : 5 5 ~ 1 0 : 4 5
3	1 0 : 5 0 ~ 1 1 : 4 0
4	1 1 : 4 5 ~ 1 2 : 3 5
昼休み	1 2 : 3 5 ~ 1 3 : 1 5
5	1 3 : 1 5 ~ 1 4 : 0 5
6	1 4 : 1 0 ~ 1 5 : 0 0
7	1 5 : 0 5 ~ 1 5 : 5 5
放 課	1 6 : 0 0
掃 除	1 6 : 0 0 ~ 1 6 : 1 5

2022 年度

学校行事及び年間授業時数計画表

日/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	備考	
1 (金)		1 (日)	1 (水)	1 (金)	1 (月) スクーリング	1 (木)	1 (土)	1 (火) 第14回全国大会	1 (木)	1 (日) 元旦	1 (水)	1 (水)		
2 (土)		2 (月) 2年生休日(就活)	2 (木)	2 (土)	2 (火) "	2 (金)	2 (日)	2 (水)	2 (金)	2 (月) 振替休日	2 (木)	2 (木)		
3 (日)		3 (火) 憲法記念日	3 (金)	3 (日)	3 (水) "	3 (土)	3 (月)	3 (木) 文化の日	3 (土)	3 (火)	3 (金)	3 (金)		
4 (月)		4 (水) みどりの日	4 (土)	4 (月) 期末テスト	4 (木) "	4 (日)	4 (火)	4 (金)	4 (日)	4 (水)	4 (土)	4 (土)		
5 (火)		5 (木) こどもの日	5 (日)	5 (火) "	5 (金) "	5 (月)	5 (水)	5 (土)	5 (月) 期末テスト	5 (木)	5 (日)	5 (日)	美容筆記試験	
6 (水)	2年生始業式(1学期)	6 (金)	6 (月)	6 (水) "	6 (土)	6 (火)	6 (木) 教職員研修会	6 (日)	6 (火) "	6 (金) 2年生始業式(3学期)	6 (月)	6 (月)		
7 (木)	第57回入学式	7 (土)	7 (火)	7 (木) "	7 (日)	7 (水)	7 (金) のため休校	7 (月)	7 (水) "	7 (土)	7 (火)	7 (火)		
8 (金)	オリエンテーション	8 (日)	8 (水)	8 (金) "	8 (月)	8 (木) カラー講習1年	8 (土)	8 (火)	8 (木) "	8 (日)	8 (水)	8 (水)		
9 (土)		9 (月) スポフェス練習午後3時間	9 (木)	9 (土)	9 (火) "	9 (金) " 2年	9 (日)	9 (水)	9 (金) "	9 (月) 成人の日	9 (木)	9 (木)	リハーサル・大掃除	
10 (日)		10 (火)	10 (金)	10 (日)	10 (水)	10 (土) 山の日	10 (月) スポーツの日	10 (木)	10 (土)	10 (火)	10 (金)	10 (金)	第56回卒業式	
11 (月)		11 (水)	11 (土)	11 (月)	11 (木) "	11 (日)	11 (火) 中間テスト	11 (金)	11 (日)	11 (水)	11 (土) 建国記念日	11 (土)		
12 (火)		12 (木)	12 (日)	12 (火)	12 (金)	12 (月)	12 (水) "	12 (土)	12 (月)	12 (木) 1年生始業式(3学期)	12 (日)	12 (日)	オープンキャンパス	
13 (水)		13 (金) スポフェス	13 (月)	13 (水)	13 (土)	13 (火)	13 (木) "	13 (日)	13 (火)	13 (金)	13 (月) 学年末テスト	13 (月)		
14 (木)		14 (土) オープンキャンパス	14 (火)	14 (木)	14 (日)	14 (水)	14 (金) "	14 (月)	14 (水)	14 (土)	14 (火) "	14 (火)	理事会	
15 (金)		15 (日) オープンキャンパス	15 (水)	15 (金)	15 (月)	15 (木)	15 (土)	15 (火)	15 (木)	15 (日)	15 (水)	15 (水)		
16 (土)		16 (月)	16 (木) カラー講習1年	16 (土)	16 (火)	16 (金) "	16 (日)	16 (水)	16 (金) 2年生終業式	16 (月)	16 (木) "	16 (木)		
17 (日)	オープンキャンパス	17 (火)	17 (金) " 2年	17 (日)	17 (水) 始業式(2学期)	17 (土)	17 (月) "	17 (木)	17 (土)	17 (火)	17 (金) "	17 (金)	終業式	
18 (月)		18 (水)	18 (土)	18 (月)	18 (木) 海の日	18 (日)	18 (火) 芸術祭	18 (金)	18 (日)	18 (水) オープンキャンパス	18 (木)	18 (土)	18 (土)	
19 (火)		19 (木)	19 (日)	19 (火)	19 (金) 選択コース開始	19 (月)	19 (水) 敬老の日	19 (木)	19 (土) 芸術祭	19 (月)	19 (木)	19 (日)	19 (日)	
20 (水)		20 (金)	20 (月)	20 (水)	20 (土)	20 (火) 学生大会	20 (木)	20 (日)	20 (火)	20 (金)	20 (月)	20 (月)		
21 (木)		21 (土) 理事会	21 (火)	21 (木) 初・中伝査定	21 (日)	21 (水) 振替休日	21 (金)	21 (月)	21 (水)	21 (土)	21 (火)	21 (火)	春分の日	
22 (金)		22 (日)	22 (水)	22 (金) 終業式	22 (月)	22 (木)	22 (土)	22 (火)	22 (木) 1年生終業式	22 (日)	22 (水) オープンキャンパス	22 (水)	スクーリング	
23 (土)		23 (月) 中間テスト	23 (木)	23 (土)	23 (火)	23 (金) 秋分の日	23 (日) オープンキャンパス	23 (水)	23 (金) 補講・補習 予定	23 (月)	23 (木) 天皇誕生日	23 (木)	"	
24 (日)	オープンキャンパス	24 (火)	24 (金)	24 (日) オープンキャンパス	24 (水)	24 (土)	24 (月)	24 (木) メイク講習1年	24 (土)	24 (火)	24 (金)	24 (金)	"	
25 (月)		25 (水)	25 (土)	25 (月) 補講・補習 予定	25 (木) メイク講習1年	25 (日) オープンキャンパス	25 (火)	25 (金) " 2年	25 (日)	25 (水)	25 (土)	25 (土)		
26 (火)		26 (木)	26 (日)	26 (火) オープンキャンパス	26 (金)	26 (月) " 2年	26 (水)	26 (土)	26 (月)	26 (木)	26 (日)	26 (日)	オープンキャンパス	
27 (水)		27 (金)	27 (月)	27 (水)	27 (土)	27 (火)	27 (木)	27 (日)	27 (火)	27 (金)	27 (月)	27 (月)	スクーリング	
28 (木)	1年健康診断	28 (土)	28 (火)	28 (木) スクーリング	28 (日)	28 (水)	28 (金)	28 (月)	28 (水)	28 (土)	28 (火)	28 (火)	"	
29 (金)	昭和の日	29 (日)	29 (水)	29 (金) "	29 (月)	29 (木)	29 (土)	29 (火)	29 (木)	29 (日)			"	
30 (土)		30 (月)	30 (木)	30 (土)	30 (火)	30 (金)	30 (日)	30 (水)	30 (金)	30 (月)				
		31 (火)		31 (日)	31 (水)		31 (月)		31 (土)	31 (火)			合計(1年間)	
日数	30日	31日	30日	31日	31日	30日	31日	30日	31日	31日	28日	31日	日数	365
休校	9日	4日	4日	10日	15日	5日	7日	4日	11日	10日	3日	14日	休校日	96
日・祭	5日	8日	4日	6日	5日	6日	6日	6日	4日	7日	6日	5日	日・祭	68
授業日	14日	19日	22日	15日	11日	19日	18日	20日	16日	14日	19日	11日	授業日	198
行事日	2日											1日	行事日	3
時数	84h	114h	132h	90h	64h	110h	105h	116h	96h	84h	114h	66h	時数	
合計数				420h					491h			264h	合計時数	1175
備考	1年健康診断 4/28	スポフェス 5/13 健康診断(教職員)			美容実技試験(通信)	美容学科試験(通信) 第14回学生大会予選 9/2 (ロイトン札幌) スタコレ予選 1年 学生オンライン9/6 2年 学生オンライン9/26	教職員研修会 (函館) 第70回 芸術祭 10/18or19	学生大会全国11/1 (大阪市)	美容着付師査定		美容実技試験	美容学科試験 3/5 理事会 3/14		

・実務経験のある教員の一覧(時間数記載)

教科名	教員名	実務経験期間
美容実習	金谷 一恵	美容室勤務 昭和51年4月～昭和62年3月
	佐藤 幸恵	美容室勤務 昭和60年4月～平成12年3月
	菊地 紫乃	美容室勤務 平成16年10月～令和4年3月
	守本 朝美	美容室勤務 昭和52年4月～昭和60年3月

	1 年		2 年		備考
一学期	150 時間	各技術試験	220 時間	各技術試験	
二学期	300 時間	各技術試験	310 時間	各技術試験	
三学期	100 時間	学年末試験	150 時間	模擬試験	
計	550 時間		680 時間		1230 時間

授業科目等 シラバス(プライマリーコース)

(専門課程 美容本科) 令和4年度

分類			授業科目名	授業科目概要と到達目標	配当年次	授業時数	成績評価	授業方法			教員		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	専任	兼任	実務経験の有
○			関係法規・制度	美容師法を中心に、美容業に係わる法令や制度を学ぶ。資格の社会的責任を自覚させ、行政処分、罰則について理解する。	1・2	30	中間・期末	○				○	
○			衛生管理	公衆衛生・感染症の知識を学び見識を高める。日常業務に必要な消毒の意義・目的及び実際の消毒方法について覚えさせる。	1・2	90	中間・期末	○					○
○			保健	人体の構造・機能について学ぶ。皮膚と毛髪などの付属器官の構造及び生理機能は美容業務にとって不可欠と理解させる。	1・2	90	中間・期末	○				○	○
○			香粧品化学	香粧品に使用される原料、使用目的を知らしめる。その定義、法的根拠、安全性などを学び社会的な意義を理解させる。	1・2	60	中間・期末	○					○
○			文化論	理美容業の成立ち・歴史から今後の課題まで考えさせる。各時代のファッションと理美容の関係を理解させる。	1・2	60	中間・期末	○				○	
○			運営管理	美容業経営に経営戦略、資金管理、労務管理等が必要であることを学ばせる。経営における接客の意義を知らせる。	2	30	中間・期末	○				○	
○			美容技術理論	美容業に認められている技術の基礎理論(目的・方法・効果など)を実習に即して学ばせる。	1・2	150	中間・期末	○				○	
○			美容実習	美容師として必要な技術の基本動作を身に付け、応用・展開まで理解し完成出来るように訓練する。	1・2	900	中間・期末	○		○	○	○	有
合計				8科目		1410単位時間(単位)							

授業科目等 シラバス(プライマリーコース)

(専門課程 美容本科) 令和4年度

分類			授業科目名	授業科目概要と到達目標	配当年次	授業時数	成績評価	授業方法			教員		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	専任	兼任	実務経験の有
	○		接客心理学	自分の価値観を知り、自分以外の人 の様々な価値観を知った上で、多種多 様な人の価値観に合わせた接客技術 を学ぶ。その学びを日常生活で実践 して、その実践内容の振り返りをす ることで技術として身に付ける。	1・2	30	レポート	○		○	○		有
	○		ビューティ ウェルネス	食と健康…美と健康を目標に、どん な食生活が大切か理解させる。食事 日記の提出、家庭・地域における伝 統食を知る。体育…協調的にスポー ツを楽しみ、生涯、体を動かること を楽しむキッカケづくり。	1・2	30	レポート	○		○	○		
	○		ビューティ カルチャー	ナレッジマネジメント…読書を通して 様々な価値観を知る事で視野を広げ る。物事に対する捉え方を学び、自 分の頭で考える力を養う。茶道…日 本の伝統文化に触れ、他者への配慮 など接客の根本であることを知る。	2	30	学習態度	○		○	○		有
	○		カラーコーデ ィネイト論	色彩学の基本を学ぶ。 パーソナルカラー(似合う色のグル ープ)を分析する方法。美容技術と 関連性、重要性を学ぶ。	1・2	30	レポート	○	○		○		
	○		ヘアデザイン 画	デッサン構成の原理を理解すると共 に、デッサンの基本練習を通じ技術 的向上を図る。カラーージュ等の作 品づくりをする。	1	30	作品提出		○			○	
	○		受験講座	学科…模擬試験と回答 実技…試験の流れ、禁止事項、必 須事項等を総合的に反復、模擬試 験	2	90	模擬試験	○		○	○		有
	○		ビューティ ワークス	美容実習で培った基礎力を活かし、 さらに高度で複雑な技術と応用力、 実践力を養う。各種技術コンテスト への見学・準備。資格試験課題を完 成。	2	330	作品評価			○	○		有
	○		みらい デザイン学	卒業後にも役立つ知識を身に付け る。将来に必要であろう金融知識、 SNSの知識と経験を身に付け、接客 の実践と一般常識を学ぶ。	1	30	レポート	○	○		○		
合計				8科目	600単位時間(単位)								
総合計				16科目	2010単位時間(単位)								

授業科目等 シラバス(デュアルコース)

(専門課程 美容本科) 令和4年度

分類			授業科目名	授業科目概要と到達目標	配当年次	授業時数	成績評価	授業方法			教員		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	専任	兼任	実務経験の有
○			関係法規・制度	美容師法を中心に、美容業に係わる法令や制度を学ぶ。資格の社会的責任を自覚させ、行政処分、罰則について理解する。	1・2	30	中間・期末	○				○	
○			衛生管理	公衆衛生・感染症の知識を学び見識を高める。日常業務に必要な消毒の意義・目的及び実際の消毒方法について覚えさせる。	1・2	90	中間・期末	○					○
○			保健	人体の構造・機能について学ぶ。皮膚と毛髪などの付属器官の構造及び生理機能は美容業務にとって不可欠と理解させる。	1・2	90	中間・期末	○				○	○
○			香粧品化学	香粧品に使用される原料、使用目的を知らしめる。その定義、法的根拠、安全性などを学び社会的な意義を理解させる。	1・2	60	中間・期末	○					○
○			文化論	理美容業の成立ち・歴史から今後の課題まで考えさせる。各時代のファッションと理美容の関係を理解させる。	1・2	60	中間・期末	○				○	
○			運営管理	美容業経営に経営戦略、資金管理、労務管理等が必要であることを学ばせる。経営における接客の意義を知らせる。	2	30	中間・期末	○				○	
○			美容技術理論	美容業に認められている技術の基礎理論(目的・方法・効果など)を実習に即して学ばせる。	1・2	150	中間・期末	○				○	
○			美容実習	美容師として必要な技術の基本動作を身に付け、応用・展開まで理解し完成出来るように訓練する。	1・2	900	中間・期末	○		○	○	○	有
合計				8科目		1410単位時間(単位)							

授業科目等 シラバス(デュアルコース)

(専門課程 美容本科) 令和4年度

分類			授業科目名	授業科目概要と到達目標	配当年次	授業時数	成績評価	授業方法			教員		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	専任	兼任	実務経験の有
	○		ビューティークラス	美容実習で培った基礎力を活かし、さらに高度で複雑な技術と応用力、実践力を養う。各種技術コンテストへの見学・準備。資格試験課題を完成。	2	30	作品評価			○	○		有
	○		ビューティウエルネス	食と健康…美と健康を目標に、どんな食生活が大切か理解させる。食事日記の提出、家庭・地域における伝統食を知る。体育…協調的にスポーツを楽しみ、生涯、体を動かすことを楽しむキッカケづくり。	1・2	30	レポート	○		○	○		
	○		カラーコーディネート論	色彩学の基本を学ぶ。パーソナルカラー(似合う色のグループ)を分析する方法。美容技術と関連性、重要性を学ぶ。	1・2	30	レポート	○	○		○		
	○		ヘアデザイン画	デッサン構成の原理を理解すると共に、デッサンの基本練習を通じ技術的向上を図る。コラージュ等の作品づくりをする。	1	30	作品提出		○			○	
	○		受験講座	学科…模擬試験と回答 実技…試験の流れ、禁止事項、必須事項等を総合的に反復、模擬試験	2	90	模擬試験	○		○	○		有
	○		インターンシップ	所属美容室の指導監督のもと、アシスタント業務の習熟と接客に慣れる。技術者として早期自立の現場訓練をする。時間管理ができ、接客以外の業務を理解をして早いスターターとなる。	2	390	日報			○	○	○	有
合計				6科目	600単位時間(単位)								
総合計				14科目	2010単位時間(単位)								

実施方針と学習目標					
<p>1 歴史を通して、人類の「人間美」に対するあくなき探求を認識し、美容業の使命の一つがより優れた人間美の創造、実現にあることを認識させる。</p> <p>2 内外の技術の歴史背景を振り返ることで、資格や業界の成り立ちを理解させること。</p> <p>文化史……我が国や海外におけるファッションの歴史と変遷について知る 流行の追う心理と影響、美容業における意義と役割を知る</p> <p>礼装……原理と歴史、種類、衣服に関するマナー、美容における意義を理解させる</p> <p>授業態度や試験で成績を評価し、100点満点中60点以上で合格とする。</p>					
	1 年		2 年		備考
一学期	13 時間	中間試験 期末試験	11 時間	期末試験	
二学期	17 時間	中間試験 期末試験	12 時間	期末試験	
三学期	7 時間	中間試験 期末試験			
計	37 時間		23 時間		60 時間

実施方針と学習目標

- 1 美容師の業務に関する衛生法規・制度及び消費者保護法規・制度について、正しい知識を習得しておかなければならない必要性を理解させ、あわせて公衆衛生を担う美容師の社会的責務、職業倫理について、自覚を促すこと。
- 2 美容の業務に関する規程内容を性格に理解させるとともに、衛生法規が、美容業を行う場合の指針として有する意義を把握させること。

衛生行政……衛生法規を学ぶために必要な基礎的事項について理解

我が国の行政の仕組み、国と地方行政との関係を理解

行政機関と美容業、特に保健所の任務や活動及び組織を理解させる

美容師法……目的と意義、用語の定義、美容師について、美容師試験について、美容師養成施設について、業務上の遵守事項、美容所について、免許取消、業務停止、閉鎖命令、など罰則について内容を十分に理解させる。

授業態度や試験で成績を評価し、100点満点中60点以上で合格とする。

	1 年		2 年		備考
一学期	10 時間	中間試験 期末試験			
二学期	15 時間	中間試験 期末試験			
三学期	5 時間	学年末試験			
計	30 時間		0 時間		30 時間

実施方針と学習目標

- 1 公衆衛生の意義と本質を明らかにすることによって、美容師が公衆衛生の維持と増進について重大な責務を担わなければならない理由は何かを十分に理解させることが必要であること、特に環境衛生については、美容師の業務と関連付けながら具体的に理解させること。
- 2 美容師の業務内容と感染症予防、環境衛生の保持との具体的な関連付けを重視して、美容における衛生措置の重要性について理解させること。特に、美容器具の消毒法の意義と原理を十分に理解させ、適正な実践方法を身に付けさせる。

公衆衛生概説……公衆衛生の意義,発展の歴史,思想の変遷,を知り、予防医学と環境衛生に大別し環境衛生が健康的で文化的な生活の基盤であることを理解させる。

保健所の機能,組織,業務などを知らせ、美容業との密接な係わりを理解させる。

感染症……どのような感染症に注意すべきか、その予防対策、衛生措置、消毒の意義

環境衛生……その意義と内容、廃棄物処理、環境保全対策、特に美容所の環境衛生項目、

衛生管理技術……特に消毒法の意義と目的について理解させる。消毒方法の種類,原理,特徴を説明する。美容器具と適切な消毒方法、美容所で行われている代表的な消毒方法

授業態度や試験で成績を評価し、100点満点中60点以上で合格とする。

	1 年		2 年		備考
一学期	24 時間	中間試験 期末試験	15 時間	中間試験 期末試験	
二学期	34 時間	中間試験 期末試験	25 時間	中間試験 期末試験	
三学期	6 時間	学年末試験			
計	50 時間		40 時間		90 時間

実施方針と学習目標

- 1 人体組織、特に皮膚及び毛髪などの皮膚付属器官の構造と機能に関する科学的、系統的な知識の習得
- 2 美容の業務を安全かつ効果的に行うためには、皮膚、毛髪などに関する正確な科学的知識が不可欠であることを理解させる。

人体の構造及び機能……基本事項、骨格, 筋肉, 各種臓器の種類と構造、調整機能(神経, 内分泌, 免疫)の仕組み、疾病との関連について理解させる。

皮膚及び皮膚付属器官の構造及び機能を理解させるとともに、これらの作用と美容との関係を学ばせる。

皮膚及び皮膚付属器官の保健衛生に影響を与える因子, 健康を保つ方法を知り、美容の施術を安全かつ効果的に行うために注意すべき事項を学ぶ。

特に毛髪の保健衛生は美容技術の基礎であることを重点的に学ぶ。

皮膚及び皮膚付属器官の疾患……主な疾患の種類, 原因, 症状, 予防, 治療法を美容の施術と関連付けて理解させる。かぶれについて

授業態度や試験で成績を評価し、100点満点中60点以上で合格とする。

	1 年		2 年		備考
一学期	18 時間	中間試験 期末試験	12 時間	中間試験 期末試験	
二学期	22 時間	中間試験 期末試験	18 時間	中間試験 期末試験	
三学期	20 時間	学年末試験			
計	60 時間		30 時間		90 時間

実施方針と学習目標

1 美容の業務を安全かつ効果的に行うためには、正確な科学的知識と合理的思考に裏づけられた美容器具や化粧品の適正な取り扱いが不可欠であることを理解させる。

2 物理・化学の基本原則についての理解とその応用能力が美容師にとって重要な意義を持つものであることを理解させる。美容器具や化粧品の合理的な取り扱い方法に習熟、危険を防止するための使用上の注意点を学ばせる。

3 化粧品の化学的な性質、正しい使用方法、適正な技法を身に付ける重要性を認識させる。

物 理……基本原則を美容技術に則して理解させる、美容で使用する主な機械器具の構造原理,機能,材質,操作方法,使用上の注意,保守管理について理解させる。

化粧品化学……基本原則を美容技術に則して理解させる、化学薬品の取扱いや調整方法などの基本操作を身につける。美容において使用される主な化粧品の種類,使用目的,成分,作用原理,使用上の注意について理解させる。

授業態度や試験で成績を評価し、100点満点中60点以上で合格とする。

	1 年		2 年		備考
一学期	13 時間	中間試験 期末試験	12 時間	中間試験 期末試験	
二学期	17 時間	中間試験 期末試験	13 時間	中間試験 期末試験	
三学期	5 時間	学年末試験			
計	35 時間		25 時間		60 時間

実施方針と学習目標					
<p>1 美容所の経営に役立つように、科学的な経営管理手法の重要性を認識させる。 2 美容業における接客態度の重要性と消費者対応の基本を学ばせる。</p> <p>経営戦略…美容業における実例を交えて経営戦略の基本的理論を理解させる。 経営管理…美容業における実例を交えて経営管理の基本的理論を理解させる。 経理事務に関する基本的事項を学ばせる。 労務管理…美容業における実例を交えて労務管理の基本的理論を理解させる。 接客…社会人としての求められること、接客の基本を理解させる 接客の意義と計画性のある実践について具体的事例とともに学ぶ。 苦情処理など消費者対応の基本的事項の実例を交えて学ぶ。 健康管理…健康診断の重要性、日常注意すべき心身の健康管理を喚起する。 理美容の仕事上の健康問題、</p> <p>授業態度や試験で成績を評価し、100点満点中60点以上で合格とする。</p>					
	1 年		2 年		備考
一学期			15 時間	中間試験 期末試験	
二学期			15 時間	中間試験 期末試験	
三学期					
計	0 時間		30 時間		30 時間

実施方針と学習目標

- 1 美容技術についての知識を衛生的、能率的に実践する態度と習慣を養う。
工夫と創造の能力とを身に付けさせる。
 - 2 美容器具の正しい取扱方法と基礎的技術を作業の実際に即して習熟させる。
 - 3 優れた美容技術は経験だけでなく科学的合理的な方法によって把握されなければならないことを強調する。
- 器具の取扱い……人間の手と器具の働き、美容器具の種類と特徴を理解させる。
各種用具,器材,容器,備品類の種類,使用目的,形態と機能,選定法,操作法,
使用上の注意,消毒法などを知り、学ぶ。
- 基礎技術……美容技術の意義を学び、技術を行う上での心得を知らせる。
人体各部の名称、技術者の体勢など技術を行う場合に考慮しなければ
ならない基礎知識を知らせる。
- 頭部技術……基本的な技術の目的,種類,特徴,技術上の注意などについて学ぶ。
- 特殊技術……目的,種類,特徴,技術上の注意などについて学ばせる。
- 和装技術……日本髪の基本知識,技術の実際,かつらの種類,合わせ方,かぶせ方を学ぶ。
和装に関する一般的知識、着付技術について学ばせる。
- 授業態度や試験等で成績を評価し、100点満点中60点以上で合格とする。

	1 年		2 年		備考
一 学 期	35 時間	中間試験 期末試験	22 時間	中間試験 期末試験	
二 学 期	47 時間	中間試験 期末試験	23 時間	中間試験 期末試験	
三 学 期	23 時間	学年末試験			
計	105 時間		45 時間		150 時間

実施方針と学習目標

- 1 業務を安全かつ効果的に実施する技術を習得するため、基本的操作を確実に身に付けさせるとともに適宜組み合わせで完成させる技術を習得させる。
- 2 美容所における衛生管理の重要性を認識させ、器具の消毒などの適切な方法を身に付けさせる。
- 3 2年生で、より高度な技術を確実に身に付けられるように、美容法で規定されている全技術の基礎を確実に習熟させる。

器具の取り扱い実習……操作方法,消毒方法,手入れ方法を身に付け、用途に適した選択方法を理解させる。

基礎技術実習……技術を行う場合に必要な体勢などの基本動作を身に付ける。
施設の清掃、器具の消毒などの重要性を十分に認識させる。

頭部技術実習……基本的技術を確実に身に付けさせる。使用器具の消毒

特殊技術実習……特殊技術の基礎を確実に身に付けさせる。

和装技術実習……日本髪のかぶり技術、かつらの合わせ方、かぶせ方、着付技術

総合実習……頭部、顔面、特殊技術を適宜組み合わせた総合的な技術を身に付けさせる。

資格試験の課題は全て理解させ前段的なレベルまでもっていく。

授業態度や試験等で成績を評価し、A～E段階のC段階以上で合格とする。

※実務経験あり。

	1 年		2 年		備考
一学期	150 時間	各技術試験	120 時間	各技術試験	
二学期	300 時間	各技術試験	180 時間	各技術試験	
三学期	100 時間	学年末試験	50 時間	模擬試験	
計	550 時間		350 時間		900 時間

受験講座

担当 菊地紫乃 佐藤幸恵

小湊はるか 金谷一恵

実施方針と学習目標

学科…模擬試験と答え合わせ

実技…模擬試験、器具類の準備、衛生上の注意の徹底

模擬試験の態度・準備、試験の結果などで成績評価し、
100点満点中60点以上、もしくはA～E段階のC段階以上で合格とする。

※実務経験あり。

	1 年		2 年		備考
一学期					
二学期			30 時間		
三学期			60 時間		模 擬 試 験 の 態 度 ・ 準 備 で 成 績 評 価
計			90 時間		90 時間

実施方針と学習目標					
<p>1 美容における色の重要性を知らせ 色彩学の基本知識を理解させる。 2 人には各々、似合う色のグループ(パーソナルカラー)があることと、その分析方法を知り美容技術に活用することを学ぶ。 ヘアカラーやメイク講習で実際に似合う色の選択を試みる。</p> <p>色彩学……「色」とは、色の3属性、トーンとイメージ、見え方の現象, 特徴、配色のルールを学ぶ。 配色の演習 パーソナルカラー……似合う色の見方と分析法を実際に行う。 コーディネイト、イメージを理解する。 メイクやヘアカラーにどう応用するか实际的に学ぶ。</p> <p>テキスト「カラーコーディネートをマスターする」女性モード社</p> <p>各種演習・試験、その他提出物において100点満点中60点以上、もしくはA～E段階のC段階以上で合格とする。</p>					
	1 年		2 年		備考
一学期	2 時間		2 時間		
二学期	8 時間		6 時間		
三学期	10 時間	演習 テキスト の提出	2 時間	演習 テキスト の提出	
計	20 時間		10 時間		30 時間

実施方針と学習目標					
<p>1 社会人として健やかに生きるために、いかに食と栄養が大切かを学び、また美容師としても必要な知識であることを認識させる。</p> <p>2 適度な運動や適切な休息が心身の健康維持のために重要であることを理解させ、生涯を通じて継続的に運動ができる能力と態度を育てること。各種の運動を通して協調性の涵養を図る。</p> <p>食と栄養……若者の食生活の問題点を客観的に理解させ、健康的な社会生活を送るためにはどんな食生活が必要なのか、調理の実際を通して解決への意欲を持たせる。食事日記の提出。家庭、地域における伝統食を知る。</p> <p>体 育……ルール作り等、仲間と協調的にスポーツを楽しむ姿勢が身に付くこと。怪我をしないように柔軟な身体づくりをする。 生涯、身体を動かすことを楽しめるきっかけづくりをする。</p> <p>競技参加態度や実習態度及び提出物において、100点満点中60点以上、もしくはA～E段階のC段階以上で合格とする。</p>					
	1 年		2 年		備考
一学期	10 時間	競技参加態度	10 時間	競技参加態度	競技参加態度
二学期	8 時間	実習態度 食事日記 で評価			
三学期	2 時間				
計	20 時間		10 時間		30 時間

実施方針と学習目標

1 ナレッジマネジメントについて、

読書を通じて、様々な価値観を知る事で視野を広げる。
物事に対する捉え方を学び、自分の頭で考える力を養う。

読書……グループディスカッションをするなかで、他人の考え方を学びながら
自分の意見を発表することで、コミュニケーション力の向上を目指す。

2 日本の代表的伝統文化である茶道に親しませ、伝統文化が日常生活の根底に
息づいていること、美容業にとっても必要な知見であることを認識させる。

茶 道(裏千家)……礼の真行草、お菓子の頂き方、お茶の頂き方、袱紗のさばき方、
盆略点前まで

授業態度や実習態度等において、100点満点中60点以上、
もしくはA～E段階のC段階以上で合格とする。

※実務経験あり。

	1 年		2 年		備考
一 学 期			12 時間	袱紗捌き 授業態度 実習態度	
二 学 期			18 時間	盆略手前 授業態度 実習態度	
三 学 期					
計			30 時間		30 時間

実施方針と学習目標

- 1 美容実習で培った基礎力を活かし、さらに高度で複雑な技術とそれらのコーディネート力,応用力,実践力を養う。
校内コンテストで、モデルを使っての技術発表を行う。ネイルアート作品、ウィッグによるヘアスタイルを最後まで造り込む。
- 2 技術理論を確実に理解して、説明、指導できるように訓練し接客力に繋げる。
- 3 各種技術コンテストに参加、見学させる。
出場者だけでなく全体のレベルアップを図るためにトレーニングを常態的に行い、これらを通し美容技術者として真摯な学びの姿勢を身に付けさせるとともにプレッシャーやストレスに耐え得る強靱な精神力に鍛える。
- 4 資格試験の課題を完成させる。
- 5 モデル実習を行い、作業の流れを知るとともに、個々人の要望に沿ってトータルな技術がスムーズに行われるように訓練する。
- 6 準備、片付け、整理整頓、清掃等が自発的に出来るようにする。

実習態度や提出物及び試験において100点満点中60点以上、もしくはA～E段階のC段階以上で合格とする。

※実務経験あり。

	1 年		2 年		備考
一学期			100 時間	作品提出	
二学期			130 時間	作品提出	
三学期			100 時間	模擬試験	
計	0 時間		330 時間		330 時間

実施方針と学習目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 多種多様なお客様の価値観に合わせて 再来店したくなるような接客技術を身に付ける。 ・ そのために、まずは自分の価値観を知る そして、自分以外の人の価値観を知る。 ・ 様々な価値観を知った上で、その価値観に合わせて どのように接客すると満足して頂けるのかを学ぶ。 ・ 学んだことを日常で実践し、その実践したことを振り返りすることで 技術として身に付けていく。 <p style="text-align: center;">授業態度や提出物等において100点満点中60点以上、 もしくはA～E段階のC段階以上で合格とする。</p> <p>※実務経験あり。</p>					
	1 年		2 年		備考
一 学 期	7 時間	毎時間の レポート	7 時間	毎時間の レポート	
二 学 期	6 時間	毎時間の レポート	8 時間	毎時間の レポート	
三 学 期	2 時間	毎時間の レポート			
計	15 時間		15 時間		30 時間

実施方針と学習目標

- 1 美容業の使命の一つが、より優れた人間美の創造、実現にあることを認識させる。
この使命達成のために必要な美的感覚を身につけ、これを洗練し、芸術的な表現力と鑑賞力とを養うこと。
 - 2 美容の業務を全うするためには、確かな技術力を身につけるとともに、豊かな感性に裏打ちされた優れた表現力を養うことが必要であることを自覚させること。
 - 3 デザイン構成の原理を理解すると共に、デッサンの基礎練習を通じ技術的向上を図る。
 - 4 ヘアデザインの描き方を習得、コラージュ等の作品づくり
- 提出物等において100点満点中60点以上、
もしくはA～E段階のC段階以上で合格とする。

	1 年		2 年		備考
一学期	28 時間	課題提出 2 回			
二学期	2 時間	課題提出 1 回			
三学期					
計	30 時間		0 時間		30 時間

実施方針と学習目標

デュアルコースなので、所属美容室の指導監督のもとアシスタント業務の習熟と接客に慣れる。技術者として早期の自立ができる様に訓練する。時間管理ができること、接客以外の常務を理解して携わることを目標とする。

美容室における現場訓練を通して、美容業を理解する。
単純業務は身に付けて、早いスターターとなること。

提出された日報により、各店責任者・校長・担当が協議の上
A～E段階のC段階以上で合格とする。

※実務経験あり。

	1 年		2 年		備考
一学期			店舗掃除、整理整頓 フロント業務 シャンプー技術		
二学期			シャンプー技術 ヘッドスパ マッサージ		
三学期			メイク 予約管理業務 材料、販売品を把握		
計	時間		390 時間		390 時間

実施方針と学習目標

今後の人生を豊かにするために必要であろう知識を伝え、社会に出る前に実践形式等での経験によって、社会人として大切な事を学ばせる。

1.金融について

高校の家庭科で金融分野の授業が開始されたことに伴い、専門学生にも金融知識を身に付け、ライフスタイルに合わせた資金計画をたてる能力を養う。

2.情報収集及び情報発信について

SNS の影響力を考慮しつつ、魅力的な情報を発信するための経験を積む。

3.接客の実践と一般常識を学ぶ

美容関連の仕事において、電話対応・来店時の接客などを実践形式で行い、接客の技能を習得させる。

授業態度や学習意欲、提出物において100点満点中60点以上、もしくはA～E段階のC段階以上で合格とする。

	1 年		2 年		備考
一学期	10 時間	授業態度 学習意欲 レポート			
二学期	11 時間	授業態度 学習意欲 レポート			
三学期	9 時間	授業態度 学習意欲 レポート			
計	30 時間				30 時間

学校法人上村学園 理事及び監事名簿

(理 事)

令和4年6月

氏 名	職 業	学外者
守本朝美	校 長	
上村重貴	医 者	○
真野佐智子	美容業	○
長谷川孝義	美容業	○
酒井厚子	美容師	○
寺田知子	美容師	○
奥澤美喜子	美容業	○

(監 事)

氏 名	職 業	学外者
寺田力	無 職	○
今野敏明	美容業	○

成績の分布状況を表す資料

令和3年度

客観的な指標の算出方法						
必修科目の学期ごとの試験成績結果を合計し、順位を出す。						
学科名	美容本科	学年	2年生	学生数	12名	
成績の分布						
指標の数値	540～ 599点	600～ 649点	650～ 699点	700～ 749点	750～ 799点	800点 以上
人数	1	0	0	4	5	2
下位1/4に該当する人数 4人						
下位1/4に該当する指標の数値 730点以下						

専門課程の成績評価と卒業認定に関する規程

(北見美容専門学校)

(成績評価)

第1条 各課目毎に行われる定期試験、各技術試験、在学中に行われる各種試験
その他提出物において100点満点中60点以上、もしくはA～E段階の
C段階以上で合格とする。

(A-80点以上 B-70点以上 C-60点以上 D-59点以下 E-0点)

第2条 前条に定める点数未満の場合は「追試験」を受けるものとする。

追試験の結果は100点満点中70点以上もしくはC段階以上であること。

第3条 追試験で、前条追試験の段階に達しない時は「補習」を受けるものとする。

第4条 評価は絶対数値もしくはA～Cで標記し、学年全体に対する成績位置を明記
する。

(卒業認定基準)

第5条 学則第8条に定める卒業に必要な単位(時間)数を履修し、本規程第1条に
定める成績を修めていること。

単位(時間)数不足する場合は、補講により補うこととする。

第6条 欠席時間数が、教科課目ごとに履修すべき時間数の3分の1(実習を伴う
教科課目にあつては5分の1)を超える場合は、卒業を認定しない。

(卒業判定会議)

第7条 卒業認定を行うため、卒業判定会議を年1回以上開催する。

第8条 卒業判定会議は、学校長、教頭等全教職員(2学年正副担任、1学年正副担
任)をもって構成する。

監 査 報 告 書

学校法人 上村学園

理事長 守本朝美 殿

令和4年6月15日、当法人事務所において、令和3年度決算報告書、及び事業報告書にもとづき監査を行いました。

その結果、いずれも適正に処理されていることを認め、ここに報告書を提出します。

令和 4年 6月15日

監 事 志田 力 

” 今野敏明 

財 産 目 録

令和 4年 3月31日現在

科 目	年度末
一 資産額	
(一) 基本財産	
1 土地	19,840,425
校地 北見市花月町17番15号 825.00㎡	
2 建物	
校舎 所在 北見市花月町17番15号 510.18㎡	30,296,470
校舎別館 所在 北見市花月町17番15号 382.22㎡	4
3 構築物 所在 北見市花月町17番15号 外構	1
4 教育研究用機器備品	457,529
5 その他の機器備品	183,302
6 図書	1,295,118
.	
(二) 運用財産	
1 預金・現金	
現金 現金手許有高	705,837
普通預金	30,241,812
定期預金	20,000,000
2 未収入金	1,156,044
3 前払金	1,032,129
4 仮払金	30,000
5 出資金	10,000
.	
合 計	105,248,671
二 負債額	
1 固定負債	
(1) 長期借入金	1,382,622
.	
1 流動負債	
(1) 未払金	1,818,173
(2) 前受金	16,703,965
(3) 預り金	4,933,114
(4) 仮受金	160,000
.	
合 計	24,997,874
差 引 純 資 産	80,250,797

事業活動収支計算書

令和 3年 4月 1日 から
令和 4年 3月 31日 まで

(単位：円)

科 目		予 算	決 算	差 異
事業活動収入の部	学生生徒等納付金	(33,750,000)	(25,820,470)	(7,929,530)
	授業料	17,600,000	9,328,800	8,271,200
	入学金	650,000	793,300	△ 143,300
	実験実習料	4,800,000	4,937,750	△ 137,750
	施設設備資金	3,000,000	3,000,000	0
	その他の諸費用	7,700,000	7,760,620	△ 60,620
	手数料	(200,600)	(151,100)	(49,500)
	入学検定料	200,000	150,000	50,000
	証明手数料	600	1,100	△ 500
	寄付金	(0)	(240,000)	(△ 240,000)
	特別寄付金	0	240,000	△ 240,000
	経常費等補助金	(2,280,000)	(11,449,490)	(△ 9,169,490)
	地方公共団体補助金	1,580,000	10,881,994	△ 9,301,994
	関係団体補助金	700,000	567,496	132,504
	付随事業収入	(1,650,000)	(1,358,056)	(291,944)
	補助活動収入	450,000	468,228	△ 18,228
	附属事業収入	1,200,000	889,828	310,172
	雑収入	(220,000)	(130,580)	(89,420)
	その他の雑収入	220,000	130,580	89,420
	教育活動収入計	38,100,600	39,149,696	△ 1,049,096
教育活動収支	科 目	予 算	決 算	差 異
	人件費	(25,350,000)	(25,047,911)	(302,089)
	教員人件費	20,200,000	19,894,227	305,773
	職員人件費	5,150,000	5,153,684	△ 3,684
	教育研究経費	(10,870,528)	(12,027,900)	(△ 1,157,372)
	光熱水費	1,350,000	1,520,952	△ 170,952
	旅費交通費	100,000	150,775	△ 50,775
	奨学費	250,000	832,500	△ 582,500
	福利費	120,000	128,080	△ 8,080
	印刷製本費	30,000	7,304	22,696
	研究費	120,000	0	120,000
	修繕費	100,000	0	100,000
	損害保険料	30,000	15,904	14,096
	諸会費	260,000	136,000	124,000
	会議費	20,000	0	20,000
	教材・教育費	4,000,000	4,630,541	△ 630,541
	教育センター納付金	200,000	87,303	112,697
	行事費	240,000	213,339	26,661
	雑費	350,000	574,203	△ 224,203
	減価償却額	3,700,528	3,730,999	△ 30,471
	管理経費	(15,214,900)	(14,531,960)	(682,940)
	消耗品費	620,000	734,485	△ 114,485
	光熱水費	86,000	88,177	△ 2,177
	旅費交通費	200,000	133,340	66,660
	授業料等減免交付還付金	0	98,400	△ 98,400
	車両燃料費	120,000	25,727	94,273
	福利費	62,000	65,500	△ 3,500
	通信運搬費	420,000	290,516	129,484
	印刷製本費	310,000	265,332	44,668
	修繕費	100,000	302,500	△ 202,500
	損害保険料	275,000	273,840	1,160
	賃借料	600,000	442,300	157,700
	公租公課	118,900	118,900	0
	諸会費	123,000	113,950	9,050
	会議費	380,000	186,197	193,803
	報酬委託手数料	5,555,000	5,844,160	△ 289,160
	補助活動収入原価	3,360,000	2,679,041	680,959

事業活動収支計算書

令和 3年 4月 1日 から
令和 4年 3月 31日 まで

(単位：円)

教育活動収支	広報費	1,850,000	2,192,945	△	342,945	
	渉外費	600,000	415,129		184,871	
	雑費	350,000	172,371		177,629	
	減価償却額	85,000	89,150	△	4,150	
	徴収不能額等	(0)	(0)	(0)	
	教育活動支出計	51,435,428	51,607,771	△	172,343	
教育活動収支差額		△ 13,334,828	△ 12,458,075	△	876,753	
教育活動外収支	事業活動収入の部	科 目	予 算	決 算	差 異	
	受取利息・配当金	(5,500)	(1,483)	(4,017)	
	その他の受取利息・配当金	5,500	1,483		4,017	
	その他の教育活動外収入	(0)	(0)	(0)	
	教育活動外収入計	5,500	1,483		4,017	
	事業活動支出の部	科 目	予 算	決 算	差 異	
	借入金等利息	(0)	(0)	(0)	
	その他の教育活動外支出	(0)	(0)	(0)	
	教育活動外支出計	0	0		0	
	教育活動外収支差額		5,500	1,483		4,017
	経常収支差額		△ 13,329,328	△ 12,456,592	△	872,736
	特別収支	事業活動収入の部	科 目	予 算	決 算	差 異
資産売却差額		(0)	(0)	(0)	
その他の特別収入		(0)	(0)	(0)	
特別収入計		0	0		0	
事業活動支出の部		科 目	予 算	決 算	差 異	
資産処分差額		(0)	(0)	(0)	
その他の特別支出		(0)	(0)	(0)	
特別支出計		0	0		0	
特別収支差額		0	0		0	
基本金組入前当年度収支差額		△ 13,329,328	△ 12,456,592	△	872,736	
基本金組入額合計		△ 0	△ 0		0	
当年度収支差額		△ 13,329,328	△ 12,456,592	△	872,736	
前年度繰越収支差額		△ 17,746,681	△ 32,603,772		14,857,091	
基本金取崩額		0	0		0	
翌年度繰越収支差額		△ 31,076,009	△ 45,060,364		13,984,355	
(参考)						
事業活動収入計		38,106,100	39,151,179	△	1,045,079	
事業活動支出計		51,435,428	51,607,771	△	172,343	

貸借対照表

令和 4年 3月 31日

(単位：円)

資産の部				
科	目	本年度末	前年度末	増減
固定資産		(52,082,849)	(55,486,868)	(△ 3,404,019)
有形固定資産		(52,072,849)	(55,476,868)	(△ 3,404,019)
土地		19,840,425	19,840,425	0
建物		30,296,474	33,921,785	△ 3,625,311
構築物		1	1	0
教育研究用機器備品		457,529	147,087	310,442
管理用機器備品		183,302	272,452	△ 89,150
図書		1,295,118	1,295,118	0
特定資産		(0)	(0)	(0)
その他の固定資産		(10,000)	(10,000)	(0)
出資金		10,000	10,000	0
流動資産		(53,165,822)	(61,118,355)	(△ 7,952,533)
現金預金		50,947,649	59,785,444	△ 8,837,795
未収入金		1,156,044	922,464	233,580
前払金		1,032,129	410,447	621,682
仮払金		30,000	0	30,000
資産の部合計		105,248,671	116,605,223	△ 11,356,552
負債の部				
科	目	本年度末	前年度末	増減
固定負債		(1,382,622)	(0)	(1,382,622)
長期借入金		1,382,622	0	1,382,622
流動負債		(23,615,252)	(23,897,834)	(△ 282,582)
未払金		1,818,173	1,836,407	△ 18,234
前受金		16,703,965	16,911,120	△ 207,155
預り金		4,933,114	4,990,307	△ 57,193
仮受金		160,000	160,000	0
負債の部合計		24,997,874	23,897,834	1,100,040
純資産の部				
科	目	本年度末	前年度末	増減
基本金		(125,311,161)	(125,311,161)	(0)
第1号基本金		125,311,161	125,311,161	0
繰越収支差額		△ 45,060,364	△ 32,603,772	△ 12,456,592
翌年度繰越収支差額		△ 45,060,364	△ 32,603,772	△ 12,456,592
純資産の部合計		80,250,797	92,707,389	△ 12,456,592
負債及び純資産の部合計		105,248,671	116,605,223	△ 11,356,552

貸借対照表

令和 4年 3月 31日

(単位：円)

重要な会計方針

(1)引当金の計上基礎

退職給与引当金は計上しておりません。

徴収不能引当金は、未収入金の金額が少額であるため計上しておりません。

(2)その他の重要な会計方針

有価証券の評価基準及び評価方法

移動平均法に基づく原価法によっております。

棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法に基づく原価法によっております。

ファイナンス・リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借り主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

預り金その他経過項目に係る表示方法

総額表示によっております。

重要な会計方針変更等

該当無し。

減価償却額の累計額の合計額

68,853,440円

翌会計年度以後の会計年度において基本金組入れを行うこととなる金額 0円

その他財政及び経営の状況を正確に判断するために必要な事項

所有権移転外ファイナンス・リース取引

リース資産の種類

その他の器械備品

リース料総額

2,079,000円

未経過リース料期末残

1,316,700円

令和3年 4月 7日 始業式
 9日 第56回入学式
 12日 オリエンテーション
 15日 「ケアハウスゆうゆう」でカット（毎月1回）
 16日 山野流着装講習開始（初・中伝の部）
 21日 職員会議（月1回）
 22日 「老人保健施設いきいき」でカット（毎月1回）
 23日 北海道理容美容学校協議会会議
 25日 オープンキャンパス

5月 7日 健康診断（1年生）
 11日 スポーツフェスティバル
 12日 2年生課外コース開始
 （ジェルネイル、まつ毛エクステ、ブライダル、カットレベルⅡ）
 16日 オープンキャンパス（月2回）
 24～28日 一学期中間試験

6月 3～4日 カラーリング講習
 12日 ササーンスクールシップカットコンテスト予選（校内）
 14日 振替休校
 15日 理事会・評議員会
 24日 勤労青少年講座 着付け 開始
 24～25日 アリミノ・メイク講習
 27日 オープンキャンパス

7月 1～7日 一学期期末試験
 13日 全国理容美容学生技術大会北海道予選（札幌）
 14日 2年生振替休日
 15日 山野流着装 初中伝査定
 16日 一学期終業式
 28～30日 通信教育スクーリング（20期）

8月 2～6日 通信教育スクーリング（20期）
 16日 二学期始業式
 17日 1年選択コース開始（ジェルネイル3級、ヘアテクニカル、山野流美容着付師）
 24日 スタイルングコレクション2021北海道予選オンライン（本校）2年生希望者
 31日 網走桂陽中学校職業体験

9月 9～10日 カラーリング講習、市民学園講座 着付（10回）
 8日 ササーンスクールシップカットコンテスト本選（千葉）中止
 10日 婦人センター着付講座（10回）
 14日 まつげエクステンション3級検定

17日 訓子府高校出前授業
 26日 オープンキャンパス

10月 1日 2022年度入学願書受付開始
 7～8日 北海道理容美容学校教職員研修会（札幌）
 11～15日 二学期中間試験、全国芸術祭（千葉）中止、茶道開始
 19日 呼人中学校職業体験
 24日 オープンキャンパス
 30日 訓子府高校生見学

11月 2日 北光中学校職業体験
 4日 相ノ内中学校職業体験
 13日 BEAUTY PAGEANT 技術発表会リハーサル
 14日 BEAUTY PAGEANT 技術発表会（パラボ）
 15～16日 振替休校、SPC 全国大会オンライン（本校）
 25～26日 アリミノ・メイク講習

12月 4日 美容着付師査定
 6～10日 二学期期末試験
 13～15日 北見藤高校で浴衣着付
 17日 2年生二学期終業式
 22日 1年生二学期終業式

令和4年 1月 7日 2年生三学期始業式、成人のお祝い
 12日 雪害のため臨時休校
 13日 1年生三学期始業式
 18～19日 道 監査
 23日 オープンキャンパス

2月 7日 美容師国家試験実技（旭川）
 8日 2年生休み、オホーツク振興局 視察
 14～18日 学年末試験

3月 6日 美容師国家試験学科（札幌）
 11日 第55回生卒業式
 13日 オープンキャンパス
 15日 理事会・評議員会開催
 17日 三学期終業式
 22～25日 通信教育スクーリング（20期）
 27日 オープンキャンパス
 28～30日 通信教育スクーリング（20期）

学校法人上村学園 北見美容専門学校
令和3年度 学校関係者評価委員会報告書

開催日時 令和4年5月20日（金） 17:00～19:00

会場 北見美容専門学校

出席者 評価委員 北見美容協会長 川本朝生
SPC GLOBAL 北海道統括副会長 櫻井香織
本校出席者 校長 守本朝美
教務 金谷一恵

実施方法 (1) 学校長挨拶
(2) 本校の概要を説明
(3) 自己点検・自己評価結果の報告
(4) 委員による評価結果の審議及び意見聴取

評価結果及び改善方策 自己点検・自己評結果表に並べて掲載

自己点検評価項目の達成及び取組状況並びに学校関係者評価

(1) 教育理念・目標 適切－4 ほぼ適切－3 やや不適切－2 不適切－1

評価項目	評価	学校関係者評価
理念・目的・育成人材像は定められているか	5	<ul style="list-style-type: none"> ・学生にも解りやすく表現したクレドを確認。 ・理念のもと育てたい「心」が育成人材像を明確に伝えていると思います。
学校の特色はなにか	4	
学校の将来構想を抱いているか	4	

(2) 学校運営 適切－4 ほぼ適切－3 やや不適切－2 不適切－1

評価項目	評価	学校関係者評価
運営方針は定められているか	3.5	<ul style="list-style-type: none"> ・職員会議のほかに財務から学生募集在校生の動向まで運営状況を網羅しての会議が月2回以上行われているのは。
事業計画は定められているか	3.5	
運営組織や意思決定機能は、効率的なものになっているか	4	
人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか	3, 5	
意思決定システムは確立されているか	4	
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3.5	

(3) 教育活動 適切－4 ほぼ適切－3 やや不適切－2 不適切－1

評価項目	評価	学校関係者評価
教育目標、育成人材像は、美容に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか	4	<ul style="list-style-type: none"> ・適切と評価 ・業界のニーズと若い学生の志向がズレてきている。 ・「考え方」教育の成果に期待している。
教育目標、育成人材像を構成する知識、技術、人間性等は、業界の人材ニーズレベルに照らして、また学科の教育期間を勘案して、到達する可能なレベルとして、明確に定められているか	4	
カリキュラムは体系的に構成されているか	4	
学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置づけをされているか	4	
授業評価の実施・評価体制はあるか	3.5	<ul style="list-style-type: none"> ・適切と評価 ・適切だと思います。
育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	

成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4	
資格取得の指導体制はあるか	4	

(4) 教育成果 適切－4 ほぼ適切－3 やや不適切－2 不適切－1

評価項目	評価	学校関係者評価
就職率（卒業生就職率・求職者就職率・専門就職率）の向上が図られているか	4	<ul style="list-style-type: none"> 様々なゼミを通して「考え方」の教育に力を入れていて、卒業生への高い評価を聞いた。卒業生の動向は把握できていると思います。
資格取得率の向上が図られているか	4	
退学率の低減が図られているか	3.5	
卒業生・在学生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	

(5) 学生支援 適切－4 ほぼ適切－3 やや不適切－2 不適切－1

評価項目	評価	学校関係者評価
就職・進学指導に関する体制は整備され、有効に機能されているか	4	<ul style="list-style-type: none"> 就職指導担当は2年生担任なので、特に問題はない。 奨学金担当が決まっているのは安心です。 とても力を入れていると思います。 美容学校で課外活動とは何をさすのか、そもそも該当しない項目では。
学校相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか	4	
学生の経済的側面に対する支援が全体的に整備され、有効に機能されているか	3	
学生の健康管理を担う組織体制があり、有効に機能されているか	3	
課外活動に対する支援体制は整備され、有効に機能しているか	2	
学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか	2	
保護者と適切に連携しているか	3	
卒業生への支援体制はあるか	4	

(6) 教育環境 適切－4 ほぼ適切－3 やや不適切－2 不適切－1

評価項目	評価	学校関係者評価
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	<ul style="list-style-type: none"> 規則で決められた以上の面積があること。 訓練を通して、していると思います。
学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	
防災に対する体制は整備されているか	3.5	

(7) 学生の募集と受け入れ 適切－4 ほぼ適切－3 やや不適切－2 不適切－1

評価項目	評価	学校関係者評価
学生募集活動は、適正に行われているか	4	<ul style="list-style-type: none"> ・適正に行われている。 ・とても力を入れていると思います。 ・学納金は見直したほうが良い、安いのでは。
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3	
入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか	4	
学納金は妥当なものとなっているか	3	

(8) 財務 適切－4 ほぼ適切－3 やや不適切－2 不適切－1

評価項目	評価	学校関係者評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3	<ul style="list-style-type: none"> ・適切と評価。
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3	
財務について会計監査が適正におこなわれているか	4	
財務情報公開の体制整備はできているか	4	

(9) 法令等の遵守 適切－4 ほぼ適切－3 やや不適切－2 不適切－1

評価項目	評価	学校関係者評価
法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	<ul style="list-style-type: none"> ・適切と評価
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	
自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	3	

(10) 社会貢献 適切－4 ほぼ適切－3 やや不適切－2 不適切－1

評価項目	評価	学校関係者評価
学校の教育資源や設備を活用した社会貢献を行っているか	4	<ul style="list-style-type: none"> ・高校へ出向いての着付など、力を入れていると思います。
学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	